

さあ、オリンピックシーズンの開幕です！今回は冬のスポーツの定番スケートで遠足に出かけた子どもたちの物語をご紹介します。

『楽しいスケート遠足』

ヒルダ・ファン・ストックム 作・絵／ふなと よし子 訳 福音館書店 1365 円

読み物

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

オランダに冬がやってきました！運河も水路もこおりスケートでどこまでも行けます。ふたごのエベルトとアフケのクラスの子どもたち 16 人は、先生と一緒に初めてのスケート遠足に行くことになりました。

アフケたち女の子は先生がよいしたポールにつかまりながらすべり、エベルトたち男の子はそのまわりをすいすいとすべっていきます。とちゅうにはあたたかくおいしい食べ物を売っている店がたちならび、雪げしきを絵にかいている人や、すべる練習をしている小さなこどももいます。

クラスでもはずかしがり屋のシモンは、エベルトたち元気な男の子と友達になりたいと思いながら少しはなれたところをすべっていました。そんな時、シモンがエベルトを助ける！という事件がおこったのです。

<子どもに手渡すときのポイント>

原作は 1934 年に出版された古い本ですが（日本での翻訳は 2009 年）、今読んで心ほっこりとなるあたたかい物語です。出版当初、絵本としてニューベリー賞の銀賞を受賞しており、物語だけでなくたくさんの美しい挿絵も楽しめます。文章だけではわかりづらいオランダの風景も挿絵がとてもよく表現していて冬のオランダを感じることができます。少し長いおはなしを読み始める 3 年生くらいにちょうどよい物語です。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

